



## 東京産業保健総合支援センター研修案内(令和2年12月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

## ◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施していません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

## ◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更いたしました。

お1人様、月1回のみの受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【日医認定産業医研修会】の受付方法の変更についてをご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

日時	テーマ	講師	単位	定員
12月1日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 11月10日(火) 10時～17時	働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～ ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。	古山 善一	生涯・更新2	24
12月3日(木) 14:00～16:00 申込受付日時 11月5日(木) 10時～17時	多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～ 働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。 働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります。 また、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようにするのか考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・更新2	24
12月4日(金) 13:30～16:30 申込受付日時 11月6日(金) 10時～17時	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地3	16
12月8日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 11月17日(火) 10時～17時	建設現場の職場巡視 建設現場の安全衛生管理は、他職種と大きな違いがいくつかあります。基礎工事から完成までの有限性であること。その間使用する機材、有害物質が多種多様にわたり、労働者への曝露やハザードも様々であること。他職種にはない短期請負制度があること等です。そうしたことを把握した上で、しっかりとリスクマネジメントが求められています。「百聞は一見に如かず」です。まずはスライドで現場を「御一見」下さい。	土屋 謙	生涯・専門2	24
12月9日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 11月11日(水) 10時～17時	労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～ 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、48年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。	荒川 輝雄	生涯・専門2	24

<p>12月14日(月) 14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 11月9日(月) 10時～17時</p>	<p><b>労災補償「制度と現状」</b></p> <p>労災補償制度は、業務上の負傷や疾病について、被災労働者や遺族に対して、治療に必要な給付や生活保障などを行うためのものです。 現代においては、脳・心臓疾患(いわゆる過労死)や精神障害、石綿や職業がん等、業務に起因する疾病が多く見られ、こうした疾病の原因を分析し、対策を講じていくことも重要になっています。 この研修では、労災保険給付の種類、業務災害と通勤災害、業務上疾病の内容、労災認定基準など労災補償制度について理解を深めていただこうと思っています。</p>	<p>野村 みどり</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>12月24日(木) 14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 11月12日(木) 10時～17時</p>	<p><b>事業場における治療と仕事の両立支援</b></p> <p>がんやメンタルヘルス不調などに罹患した従業員を健康面、人事面からしっかりサポートし治療と就業の両立をはかることは、本人にとっても会社にとっても有意義な取り組みです。本研修では、この両立支援を行う産業医がキーパーソンとしてどのような対応を行うのかを一緒に学びたいと思います。</p>	<p>内田 和彦</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>24</p>

◆保健師・看護師研修◆

※単位等の取得はできません。

●保健師・看護師研修の申込受付開始は、すべて**11月18日(水)10時～**です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
12月15日(火) 14:00～16:00	<p><b>「メンタルヘルス・マネジメント入門」～社員を円滑に専門家につなぐ方法～</b></p> <p>社員にメンタルヘルス不調が発生した場合、その社員が医療、もしくは産業保健スタッフに繋がるまでは、主に管理監督者もしくは人事労務担当者が関わることになります。そこで、社員を精神科に繋げるためには、精神科が必要だという根拠を示し、かつ精神科の受診を勧めるという勧奨スキルも重要となります。個人情報のやりとりにも、丁寧に「同意を取る」関わりが必要です。本研修では、社員を円滑に専門家につなげるための方法について解説を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	(株)ジャパンEAPシステムズ 臨床心理士 松本 桂樹	単位なし	12
12月18日(金) 14:00～16:00	<p><b>職場のメンタルヘルス対策とハラスメント対策</b></p> <p>「職場のいじめ・嫌がらせ」行為は職場の秩序を乱し、労働者の勤労意欲の阻害や生産性の低下をもたらし、さらに労働者のメンタル不調の原因となるなど、様々な影響を及ぼします。ハラスメント対策を中心としたメンタルヘルス対策をポジティブに展開し、企業イメージの向上、社員のモチベーションアップ、離職率の低下、生産性の向上などにつなげられるよう、具体的な対策・防止措置を考えていきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	産業心理 カウンセラー 森井 梢江	単位なし	12
12月21日(月) 14:00～16:00	<p><b>がん等の職場復帰支援はいかがでしょうか～ケースごと支援の多様化も基本は5つのステップに沿って～</b></p> <p>「治療と仕事との両立支援」、その人らしく仕事ができるよう職場復帰支援をする。この目標に向けて、難しいところもあります。病気の状態、職場風土、個人や環境要素を踏まえて、一律にはいかないところもありますが、職場復帰支援の5ステップに沿っての支援、実践的な対応をお伝えしたいと思います。組織的支援になるよう、情報共有ができるといいですね。一緒に考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	単位なし	12
12月22日(火) 14:00～16:00	<p><b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b></p> <p>働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります。まだ、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	単位なし	12
12月23日(水) 14:00～15:40	<p><b>労働衛生管理の基礎と事例～管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修について～</b></p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、テーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明します。最後に短時間ですが質疑応答の時間を設けています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	単位なし	10

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

※単位等の取得はできません。

●人事・労務・衛生管理者研修の申込受付開始は、すべて**11月18日(水)10時～**です。

日時	テーマ	講師	定員
12月7日(月) 14:00～16:00	<p>労働衛生管理セミナー</p> <p>2つのテーマを取り上げます。</p> <p>～衛生委員会の活性化に向けて～ 衛生委員会は、労働者の健康確保のために基本となる対策や労働災害の防止対策などを調査審議し、労働衛生管理活動に反映させることを目的にしています。しかし、事業場の中には、毎月開催にあたってテーマ選びに苦労したり、対策の具体化が進まず悩みをお持ちのところもあるようです。本研修では、衛生委員会を効果的に開催するポイントについて解説します。</p> <p>～サプライチェーンにおける労働災害防止について～ 近年、CSR(企業の社会的責任)への取組みは、サプライチェーン(SC)全体に求められています。協力企業や家内労働者を含む外注スタッフもSCの一員であることを認識し、関係者全員が労働災害防止に努めることが大切です。本研修では、化学物質を取り扱う仕事の原因で健康を害することがないよう労働安全衛生法にも定められている化学物質のリスクアセスメントの実施とその結果に基づきリスク低減措置の基本的な考え方や実践的な安全衛生対策などを紹介し、誰もが健康に働ける環境作りについて解説します。</p>	<p>野村 みどり</p> <p>日本労働安全衛生 コンサルタント会 顧問 後藤 博俊</p>	24
12月15日(火) 14:00～16:00	<p>「メンタルヘルス・マネジメント入門」～社員を円滑に専門家につなぐ方法～</p> <p>社員にメンタルヘルス不調が発生した場合、その社員が医療、もしくは産業保健スタッフに繋がるまでは、主に管理監督者もしくは人事労務担当者が関わることになります。そこで、社員を精神科に繋げるためには、精神科が必要だという根拠を示し、かつ精神科の受診を勧めるという勸奨スキルも重要となります。個人情報やのやりとりにも、丁寧に「同意を取る」関わりが必要です。本研修では、社員を円滑に専門家につなげるための方法について解説を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	(株)ジャパンEAP システムズ 臨床心理士 松本 桂樹	12
12月18日(金) 14:00～16:00	<p>職場のメンタルヘルス対策とハラスメント対策</p> <p>「職場のいじめ・嫌がらせ」行為は職場の秩序を乱し、労働者の勤労意欲の阻害や生産性の低下をもたらし、さらに労働者のメンタル不調の原因となるなど、様々な影響を及ぼします。ハラスメント対策を中心としたメンタルヘルス対策をポジティブに展開し、企業イメージの向上、社員のモチベーションアップ、離職率の低下、生産性の向上などにつなげられるよう、具体的な対策・防止措置を考えていきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	産業心理 カウンセラー 森井 梢江	12
12月21日(月) 14:00～16:00	<p>がん等の職場復帰支援はいかがでしょうか～ケースごと支援の多様化も基本は5つのステップに沿って～</p> <p>「治療と仕事との両立支援」、その人らしく仕事ができるよう職場復帰支援をする。この目標に向けて、難しいところもあります。病気の状態、職場風土、個人や環境要素を踏まえて、一律にはいかないところもありますが、職場復帰支援の5ステップに沿っての支援、実践的な対応をお伝えしたいと思います。組織的支援になるよう、情報共有ができるといいですね。一緒に考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	12
12月22日(火) 14:00～16:00	<p>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</p> <p>働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります。まだ、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	12
12月23日(水) 14:00～15:40	<p>労働衛生管理の基礎と事例～管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修について～</p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、テーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明します。最後に短時間ですが質疑応答の時間を設けています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	14